

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 消防団加入促進PR事業

自治体名

山口県下関市

消防団名

下関市消防団

1 事業の目的

消防団員減少に歯止めをかけるため、消防団活動の重要性・魅力の周知と理解促進により消防団の活力向上を図る。あわせて、地域・企業・大学等と連携した取り組みを実施することで、地域防災力の強化と地域活性化を推進するとともに、地域防災力の中核を担う消防団員の確保を目指す。

2 事業内容

消防団員の減少は、地域防災力の低下と団の活力喪失を招き、さらなる減少を生む悪循環につながるため、社会全体の「担い手不足」課題として捉え、下関市消防団マスコットキャラクター「モセキ、コモセキ」のコンセプトでもある「絆」をベースに、様々な団体と地域防災力強化と地域活性化に連携して取り組むことで、「地域とのつながり」という団員の本質的な動機に寄り添い、やりがいを持って活動できる環境を整備するとともに、加入促進PR・人材確保に取り組む。

【事業内容詳細】

- ・ 加入促進PR動画企画・制作・放映
- ・ 消防団PR冊子(市報特集:市内全戸配布)
- ・ 加入促進PR活動(各地域単位)



消防団に入る
という防災

消防団員募集中!! /
下関市消防団



3 事業成果

消防団員の減少を社会全体の課題として可視化し、地域・企業・大学等と連携した効果的なPRにより、持続可能な加入促進体制を構築した。その結果、事業年度当初1,579人(R7.4.1)から107人が新規入団し、山口県内初となる現役高校生の消防団員も誕生した。

本事業は、①公募型プロポーザルで多様な提案を採用した加入促進PR動画の企画・制作・放映。②市報特集としてPR冊子を市内全戸に配布し、消防団員減少の課題を広く市民に投げかけて関心と理解を促進。③全31分団と消防職員が地域課題に即して無理のないPR活動を展開といった三本柱で実施することで、媒体と現場を連動させて関心喚起と実行可能な加入促進につなげることができた。

4 目標達成状況

指標	当初目標	実績値	備考
広報媒体の数	5媒体	5媒体	
取材地域団体の数	17地区	17地区	
訪問企業・大学の数	50件	50件	
説明会実施回数	67回	67回	
企画立案への参画消防分団数	31分団	31分団	

5 その他参考情報

消防団ホームページ : <https://sbkeibou.wixsite.com/website>

消防局公式Instagram : https://www.instagram.com/shimonoseki_fire119/